



このコーナーでは、職員の趣味や特技を紹介します。今号は新病院長に寄稿いただきました。

新病院長になって

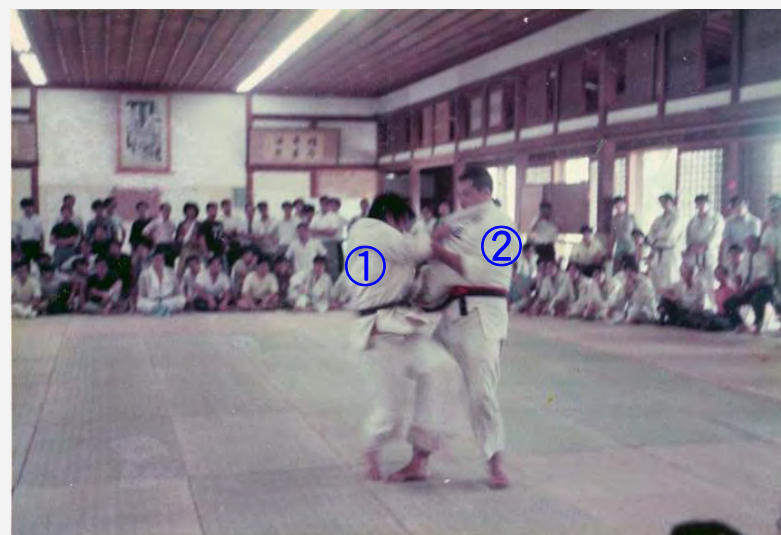
4月から徳島大学病院長に就く永廣信治です。よろしくお願いいたします。脳神経外科教授も併任しています。自己紹介からいたします。私は熊本県生まれ、熊本県育ちです。父親が警察官であった関係もあり、小学校4年生から柔道を始め、青春時代の大部分を柔道に打ち込みました。特に熊本市の藤園（とうえん）中学という柔道最強中学（12年間公式試合で無敗のチーム）の6代目の主将を務め、6年後輩にはオリンピック金メダリストの山下泰裕氏がいました。現在柔道6段、時々徳島大学柔道部を指導し、柔道部は西日本医科学学生柔道大会を連覇し、昨年の全日本医科学学生柔道大会でも優勝しました。また4月からは全日本柔道連盟の医科学委員会委員長として、柔道による重大事故予防にも取り組む予定です。

柔道の話は、また今後の機会にすることとして、私は19年前の平成9年に徳島大学医学部脳神経外科の教授として熊本大学から転勤しました。専門は脳神経外科全般の手術と脳血管障害研究ですが、特に徳島大学病院の脳卒中センター立ち上げと運営に精力を注いでまいりました。

徳島大学病院は歴代の病院長や先輩方のご努力で順調に業績を上げ、県内唯一の特定機能病院として、安全で高度の医療を患者さんに提供しています。新病院長として、今後も若手医療人の人材育成や魅力ある大学病院づくりに努めたいと思います。私が病院で最も大事にしたいのはチーム医療と人材育成です。診療科や職種の枠を超えた新しいセンターやプロジェクトを結成構築し、さらに質の高い医療をめざしたいと思います。座右の銘は、柔道の始祖嘉納治五郎が柔道の根本原理とした言葉、「精力善用 自他共栄」です。自分の力や技術を最大限に有効に生かすことによって、自分も他者や組織も繁栄し、社会貢献に繋がるという意味です。病院組織も、一人一人が能力を有効に生かすことで、病院全体の医療の質が向上し、また各個人の幸せにも寄与すると思います。大学病院ですから、診療や教育の他に研究や地域社会への貢献、国際交流なども重要な使命です。

これからいろいろな課題もあり、困難な事にも遭遇するとは思いますが、皆様の協力のもと「徳大病院丸」が荒波を乗り越え輝き続けるように舵を切りたいと思いますので、どうかご支援の程よろしくお願いいたします。

病院長 永廣 信治



1974年 西日本医科学学生柔道大会（天理道場） 決勝戦
熊本大×徳島大、1体1で代表選 永廣①×西本②、
永廣の優勢勝ちで熊本大優勝



2015年9月 全日本医科学学生柔道大会（東海大にて）
徳島大優勝 永廣①と西本②の再会

病院NEWS

第52回 徳大関係医療機関協議会総会の開催について



平成28年1月22日、第52回徳大関係医療機関協議会総会をホテルクレメント徳島にて開催しました。各医療機関より、約90名の代表者が出席されました。

初めに安井前病院長から徳島大学病院の現状についての報告、続いて卒後臨床研修センター長の佐田教授から初期研修の動向と取り組みについての報告、徳島県地域医療支援センター・副センター長の赤池教授から地域枠の現状と専門医制度についての報告がありました。

特別講演では産業医科大学医学部の松田晋哉教授により「地域医療構想について」お話をいただきました。質疑応答の中で、今後の徳島の病院運営やワークバランスなどについて意見交換が行われました。



NEWS・イベント大募集！

「Harmony」は、病院職員を対象に、院内情報の伝達や職員のコミュニケーションの活性化などを目的として発行しております。行事やイベントなどのNEWSや院内で周知してほしいTOPICSなどがありましたら、どんどん病院総務課広報・企画係（bsoumuss1@tokushima-u.ac.jp）までお寄せください。また、「Harmony」で取り上げたら良いと思うテーマなど、ご意見・ご提案もお待ちしております。



栄 養 部

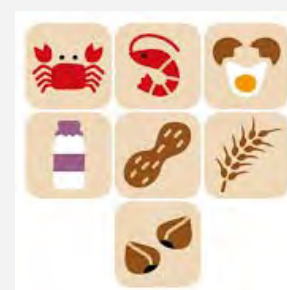
With SUN（クローン病患者交流会）に参加してきました

栄養部では平成21年よりクローン病患者さんとの交流会を行っています。今年は1月31日に徳島県立障がい者交流プラザにて実施しました。参加者は、患者7名、管理栄養士3名、薬剤師1名の計11名でした。寛解期のクローン病患者さんは低脂質・低残渣の食事制限がありますが、普通食と見た目に遜色のない軽食や間食をテーマにライスバーガー2種類、ポテトチップス、レアチーズケーキ、車麩のフレンチトースト、いちご大福を作りました。今後もクローン病患者さんの食生活を豊かにできるようにサポートを続けていきます。



徳島アレルギーフォーラム2016

平成28年2月21日に日亜ホールGreenにおいて、徳島アレルギーフォーラム2016を開催しました。毎年アレルギー週間中のこの時期に開催しています。今年度は小児科、杉本真弓先生、苛原誠先生、呼吸器・膠原病内科吾妻雅彦先生、きのした内科呼吸器クリニック木下勝弘先生がアレルギーの関わる病気についての説明と個別相談を行いました。31名の参加者があり、分かりやすい説明であったと好評でした。



呼吸器・膠原病内科、小児科

看 護 部

看護部内定式を開催しました

平成28年1月19日、日亜ホールWhiteにて看護部新規採用者内定式を開催しました。採用予定の57名全員が参加し、緊張した面持ちで式に臨みました。病院長から、「看護師は患者と一番近い存在であることから、チームワークを大切に、患者の為にその力を発揮していただきたい」また、「今後、自信喪失に陥ることがあっても、努力を続けることで、周りが変わる、一人でも仲間を作り意見を聞いていくことを実行してください。」と激励の言葉をいただきました。また、看護部長からは、「特定機能病院に働く為には、学び続けることが必要である。人間力を磨いてください。」と挨拶がありました。参加者は、この後看護部のオリエンテーションを受け、希望者は、ユニフォームの試着や宿舎の見学を行いました。



徳島大学病院フォーラム2016春を開催しました



平成28年2月7日、あわぎんホールにて市民公開講座「徳島大学病院フォーラム2016春」を開催しました。

本院では、春と秋の年2回、「徳島大学病院フォーラム」と題した市民公開講座を開催し、秋は高血圧の啓発を目的に、春は毎年テーマを変えて、大学病院が果たす地域医療への貢献の一環として、より良い医療のあり方を議論できる場を提供してきました。

17回目の開催となる今回のフォーラムでは、「アンチエイジング～健康寿命をのばすために」と「がん」と題した2部構成で実施しました。第1部では、心血管病やメタボリックシンドローム、ロコモティブシンドロームの予防、診断・治療法などが紹介されました。第2部では日本人の死亡原因の第1位を占める「がん」をテーマに、肺がん、前立腺がん、乳がんに関心をあてて、本院の第一線で働く専門医による講演が行われました。

当日ご参加くださった約500人の参加者の方々は、講師の語る最新医療の話に熱心に耳を傾けておられました。

TOPIC

徳島大学病院 循環器内科フォーラム
「不整脈から心臓と脳を守る」

日時：平成28年4月29日（金・祝）13時～16時
場所：徳島大学蔵本キャンパス 大塚講堂
対象：一般向け
連絡先：循環器内科医局（内線7174）

第14回徳島人工呼吸セミナー

日時：平成28年5月28日（土）9時～
場所：徳島大学蔵本キャンパス 大塚講堂
対象：医師、看護師、臨床工学技士、理学療法士、
その他人工呼吸管理に興味のある方
連絡先：救急集中治療部（内線9445）

